



山火事を防ぎましょう

これからゴールデンウィークを迎え、ハイキングや山菜採りなどで山に入る機会が増えると思います。休憩中に一服し、あなたが何気なく捨てた“たった1本のたばこ”。でも、それが取り返しのつかない大きな林野火災（山火事）につながる可能性があります。

いったん発生してしまった林野火災を消すことは決して簡単なことではなく、時には財産ばかりか人命の危険を伴うこともあります。さらに、林野火災により一度失われた貴重な森林は、回復するまでに大変長い年月がかかり、多くの人々の心に大きな爪跡を残すのです。

山に出入りする一人ひとりが火の取り扱いに気を付け、山火事の予防に心がけてください。

○林野火災の特徴とは・・・

“林野火災”いわゆる山火事は、住宅地での火災とは異なり、いったん発生すると消防水利の不足や道路状況などの地理的、地形的な条件から消防活動が非常に困難なため、焼損面積が広範囲に及ぶ危険性が高くなります。また、林野火災による森林の焼失は保水能力の低下を招き、土砂崩れなどの自然災害を誘発するなど大きな災害の要因にもなり、一度焼失した森林は再生するまでに数十年という歳月を要します。

○林野火災の出火原因は・・・

林野火災の出火原因は、「たき火」「たばこ」「火入れ」など火気の取り扱いの不注意や不始末によるものが大部分を占めています。



○林野火災をなくすために・・・

林野火災を起こさないために、山に入っても火を使わないことを心がけてください。やむを得ず火を使う場合は次の点に注意してください。

山火事を防ぐポイント

- 1 枯れ草等のある火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと
- 2 たき火等火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火すること
- 3 強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしないこと
- 4 たばこは、指定された場所で喫煙し、吸いがらは必ず消すとともに、投げ捨てないこと
- 5 火遊びはしないこと

林野火災の大部分は皆さん一人ひとりの注意で防ぐことができます。貴重な環境資源である森林を林野火災から守るため、山野での火気の手扱いは十分注意しましょう。



「守りたい 森の輝き 防火の心」

平成26年全国山火事予防運動統一標語

「もういいかい 火を消すまでは まあだだよ」

平成26年全国統一防火標語